

## Web 時代に現れた脅威

Eiji Yoshida Security Response Team Microsoft Asia Limited

## Summary

Web 時代に入り、数多くの Web アプリケーションや Web クライアントが企業や個人を問わずに製作され続けています。これらが製作され続けて普及するとともに、Web 時代だからこそ注目されるような新たな問題も現れています。

本セッションではクロスサイト・スクリプティングや受動的攻撃などを取り上げて、Web 時代に現れた脅威の紹介と対策を説明します。



# 本セッションの Topic

- ◆ Web 時代に現れた脅威の分類
  - ➤ Web Application Side の脅威
  - ➤ Web Client Side の脅威
  - ➤ Web Server Side の脅威
- ◆ Web 時代では、この3つに分類された 脅威それぞれについてセキュリティ対策 が必要



# Web Application Side の脅威

#### Web Application Side





# Web Application 21t

- ◆ Web Client との通信に HTTP を使うア プリケーション
- ◆ Web Client との通信をもとに動的にコン テンツを生成するアプリケーション
- ◆ HTTP を使い Web Client にオンラインで機能を提供するアプリケーション



# Web Application の代表例

- ◆ Web Application の代表例
  - インターネット・ショッピング
  - サーチ・エンジン
  - インターネット掲示板
  - Blog(ダイアリー)
- ◆ URL で拡張子が .asp や .cgi と書かれ ているアプリケーション



# Web Application のメリット / デメリット

- ◆ Web Application のメリット
  - ➤ Web Application は、Web Client から受け取った情報をもとにコンテンツを生成できる
- ◆ Web Application のデメリット
  - ➤ Web Application はコンテンツの生成に Web Client から受け取った情報の影響を受ける



# Web Application のデメリット

- ◆ Web Application のデメリットは結果として
  - ➤ Web Client から送られた悪意のある情報に誘導されて、Web Application が悪意のあるコンテンツを生成してしまう



# Web Application Side の脅威

- ◆ Web Application のデメリットによる脅威
  - ▶ クロスサイト・スクリプティング (Cross-Site Scripting)

CERT Advisory CA-2000-02 Malicious
HTML Tags Embedded in Client Web
Requests
http://www.cert.org/advisories/CA-2000-02



## クロスサイト・スクリプティングとは

- ◆ Web Application などの動的にコンテンツを生成する仕組みの問題
- スクリプトがサイトからサイトへとクロスして 実行

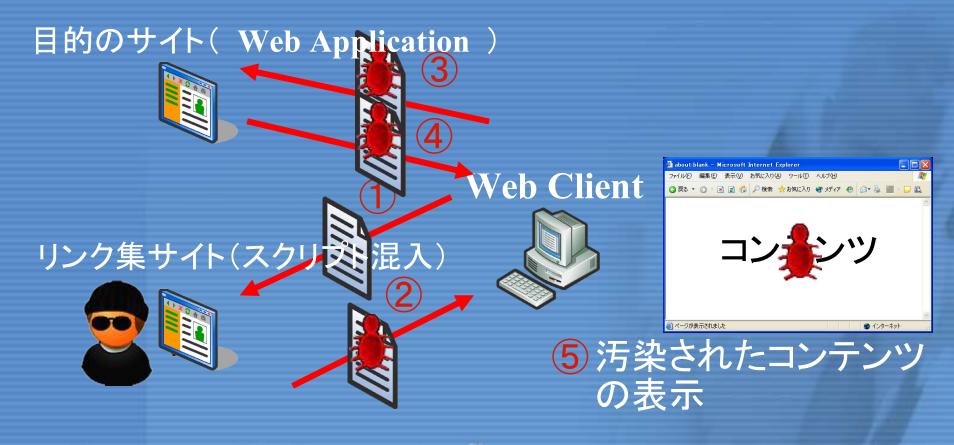


# クロスサイト・スクリプティングによる問題

- 不本意なコンテンツの生成
  - ▶ 提供情報の操作
  - スクリプトの実行
    - ➤ Cookie の操作
- ◆ アクセス制限(セキュリティゾーン)の回避



## 不本意なコンテンツの生成



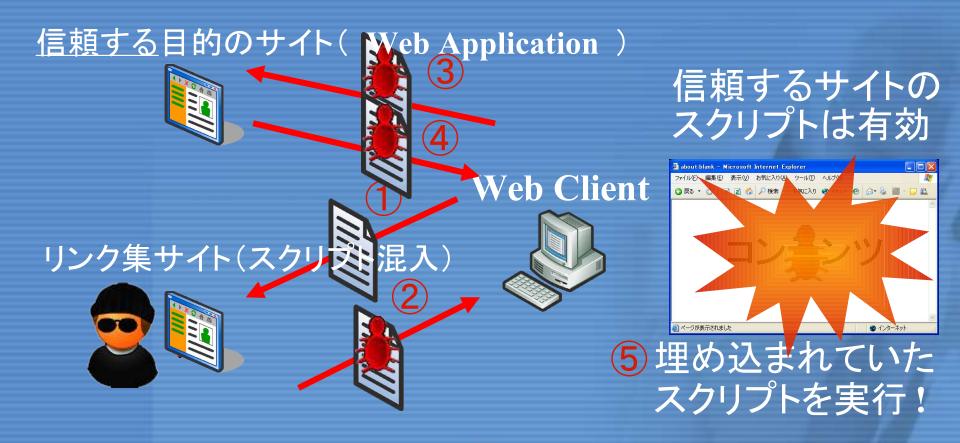


#### セキュリティゾーン





# アクセス制限の回避



Your potential. Our passion.

Microsoft

## クロスサイト・スクリプティング対策

- スクリプトの無効化(サニタイジング)
  - > メタ文字を置換して無効化
    - 「< 」 → 「&」t; 」</p>
  - ➤ 埋め込む場所にあわせて入力情報を無効化 (タグ属性やURL属性などで必要な処理が異なるため)
  - 無効化判定と無効化処理はコンテンツ出力時



#### Web Client Side の脅威





#### Web Client とは

- ◆ Web ブラウザと呼ばれるアプリケーション
- ◆ Web Application や Web Server との 通信に HTTP を使うアプリケーション
- ◆ HTML を解釈して Web コンテンツを表示 するアプリケーション



#### Web Client の代表例

- Microsoft Internet Explorer (Microsoft Corporation)
- Opera Web Browser (Opera Software ASA)
- Netscape Navigator (Netscape Communications Corporation)



# Web Client のメリット/デメリット

- ◆ Web Client のメリット
  - Web Application や Web Server から送られてきた情報を Web Client が処理して、Web コンテンツとして表示する
- ◆ Web Client のデメリット
  - Web Application や Web Server から送られてきた情報を Web Client が処理する際に、問題が発生しやすい



#### Web Client Side の脅威

- ◆ Web Client のデメリットによる脅威
  - > 受動的攻擊

受動的攻撃検証サイト http://zaddik.hp.infoseek.co.jp/

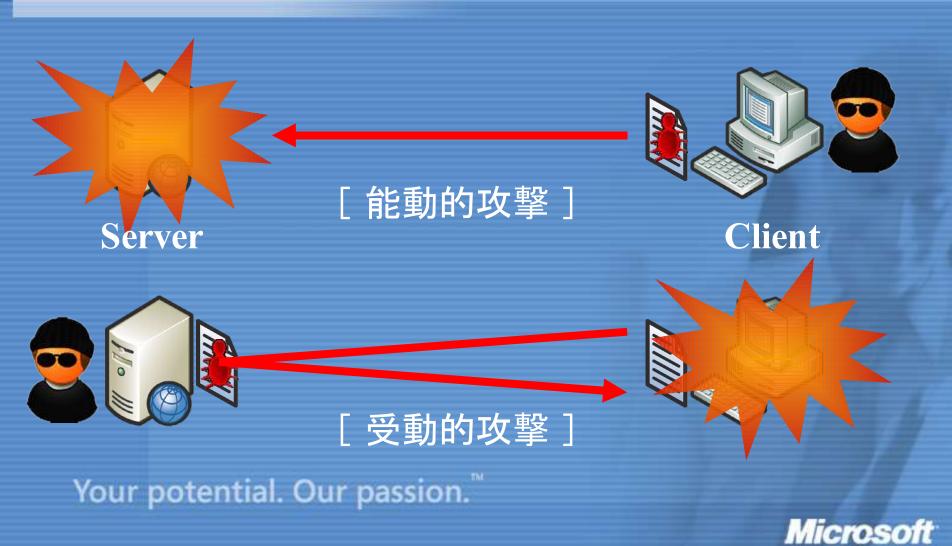


#### 受動的攻撃とは

- ◆ ユーザからの要求に対して悪意のある情報 を送り込む攻撃
  - 能動的攻撃(従来の攻撃)攻撃側が起点となる攻撃
  - 受動的攻撃 攻撃対象が起点となる攻撃



# 能動的攻擊と受動的攻擊



## 受動的攻撃による問題

- ◆ Web ページや HTML メールの表示による被害の発生
  - ウイルスの感染
  - > コマンドの実行
- アクセス制限の回避
  - ファイアウォールの無効化
  - 社内ネットワークの侵入



#### Web ページ表示による被害発生

- ◆ 「不適切な MIME ヘッダーが原因で Internet Explorer が電子メールの添付ファイルを実行する (MS01-020) 」を悪用し、Web ページや HTML メールを表示するだけで添付ファイルを実行
  - ➤ Nimda ワーム (2001/9)
  - > Swen ワーム (2003/9)
  - ※ 修正プログラム MS01-020 (2001/4)



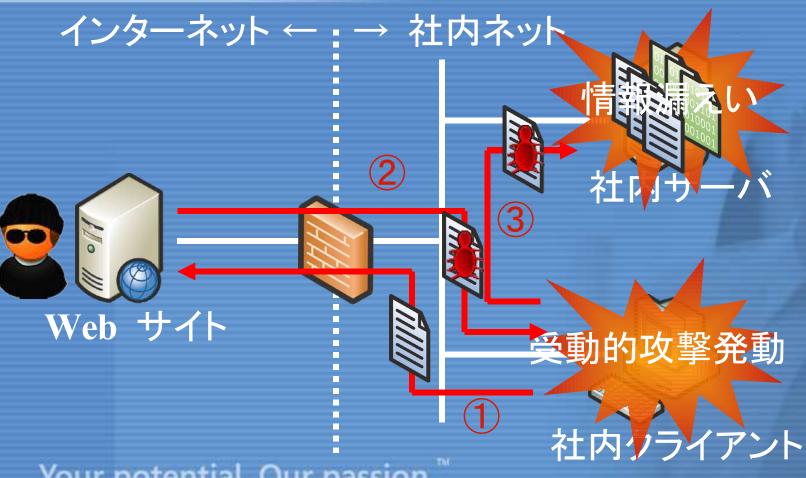
## アクセス制限の回避

- ◆ 攻撃対象を起点として攻撃を開始することで、ファイアウォール等に登載されているパケットフィルタリングを回避
  - ファイアウォールのアクセス制御設定

インターネット → 社内ネット	×
社内ネット → インターネット	
社内ネット → インターネット → 社内ネット	



# アクセス制限の回避





#### 受動的攻擊対策

- ◆ 修正プログラムを適用する
- ブラウザのセキュリティ設定を使い各種機能を厳しく制限する
- ◆ Administrator などの管理者ユーザで Web ページを閲覧しない
- ◆ ウイルス対策ソフトウェアをインストールする



## Web Server Side の脅威





#### Web Server 21t

- ◆ Web Application や Web Client との通信に HTTP を使うサービス
- ◆ Web ページ や Web Application といったリソースを管理するサービス



#### Web Server の代表例

- Microsoft Internet Information Services (Microsoft Corporation)
- Apache HTTP Server (The Apache Software Foundation)
- Netscape Enterprise Server (Netscape Communications Corporation)



#### Web Server Side の脅威

- ◆ FrontPage Server Extensions の設定ミスを悪用した Web コンテンツの改ざん
  - FrontPage Server Extensions

FrontPage Server Extensions http://msdn.microsoft.com/library/en-us/di



#### FPSE とは

- ◆ Web Server にリモートでのコンテンツ作成や管理といった機能を拡張するプログラム
- ◆ Microsoft Office FrontPage やネットワーク プレースを使ったコンテンツ管理が可能
- ◆ FrontPage やネットワーク プレースと FrontPage Server Extensions 間は HTTP による通信



#### FPSE の設定についての注意点

- ◆ リモートでのコンテンツ作成や管理といった FPSE の機能を悪用したコンテンツ改ざん
  - コンテンツの作成や管理に必要なアクセス権

FPSE	NTFS アクセス権
WebDAV	NTFS アクセス権
Manay	JJS アクセス権(書き込み)



# IIS アクセス権

ディレクトリ セキュリティ	HTTP ヘッダー	カスタム エラー	Server Extensions
Web サイト	ISAPI フィルタ	ホーム ディレクトリ	ドキュメント
このリソースへの接続時に			
6.0	このコンピュータにあるディ		
1,000	ほかのコンピュータにある:	Figure 1 and	
0	URL へのリダイレクト( <u>U</u> )		
ローカル パス( <u>C</u> ):	c:¥inetpub¥wwwrod	参照( <u>○</u> )	
<ul><li>読み取り(R)</li><li>書き込み(W)</li><li>ディレクトリの参照(B)</li><li>アプリケーションの設定</li></ul>		☑ このリソースに索引を付	-
アプリケーション名( <u>M</u> ):	既定のアプリケーション		削除(E)
	く既定の Web サイト	構成(G)	
開始点:	スクリプトのみ		1#/0X\Q/
開始点 : 実行アクセス権( <u>P</u> ):	スクリプトのみ	~	
	スクリプトのみ 中 (ブール)	×	アンロード(L)



## 対策の注意点

- ◆ HTTP 通信を通すように設定されたパケットフィルタリングでは FPSE の設定ミスを 悪用した改ざんは防ぐことができない
- ◆ IIS のアクセス権で「書き込み」を外しても FPSE の設定ミスを悪用した改ざんは防ぐ ことができない
- ◆ 全ての修正プログラムをインストールしても FPSE の設定ミスを悪用した改ざんは防ぐ ことができない



#### FPSE 設定ミスによる改ざんの対策

- ◆ FPSE を使用しないならアンインストール
- ◆ Web コンテンツとなるフォルダやファイル に適切な NTFS アクセス権を設定
  - IIS のディレクトリ セキュリティで匿名アクセスを 許している場合は、匿名で使用するユーザーに NTFS アクセス権で「書き込み」や「変更」を与 えない
    - ※ 初期設定では与えられていない!



#### まとめ

- ◆ Web 時代では、従来のように Web Server だけをセキュアにするのではなく、 Web Application や Web Client もセキュアにすることが必要
- ◆ Web 時代では、Web Server の管理者だけではなく、Web Application を作成するプログラマーも、Web Client を使う一般ユーザーもセキュリティを勉強することが必要



#### 行っていただきたいこと

- → コミュニティなどに参加して、セキュリティ業界の人と交流を
  - セキュリティに関する情報や考え方に注目
- ◆ あとでセキュリティではなく、まずはセキュリティを
  - セキュリティは付け足すよりも、セキュアに設計するほうが効率的かつ効果的



#### 行っていただきたいこと

- ◆ セキュアだと「思う」のではなく、セキュアであることの「確認」を
  - ➤ 確認をせずにセキュアだと思い込むことは危険



## ぜひ読んでください!

- ◆ セキュリティ管理 基本のトレードオフ: http://www.microsoft.com/japan/techn
- ◆ Windows2000 セキュリティ強化ガイド:
  http://www.microsoft.com/japan/techn



# ぜひ読んでください!

- マイクロソフト の Securing Windows 2000 Server ソリューション: http://www.microsoft.com/japan/techn
- Windows Server 2003 Security Guide: http://www.microsoft.com/japan/techn



